

天王森通信

2022年1.2.3月号 No.113 発行：天王森泉公園運営委員会



「天王森泉公園」は、近隣地域の宝物

運営委員会会長 角本 等

天王森泉公園を表すことばは、「歴史と自然を受け継ぎ、みんなに愛される憩いの天王森」です。和泉川沿いの相模野台地の崖線から湧く豊富な湧水が育んだ製糸産業の歴史を持ちます。豊かな湧水が、ワサビ田を潤し、せせらぎにはホタルも生息し、様々な野草が花をつけ、多くの生き物が生息する憩いの里山です。

この公園は、横浜市の公園です。近隣地域のボランティアが集まり横浜市の指定管理者として委託を受け、公園管理を行っています。活動目標として、

① 里山の自然環境の維持、生物多様性の保全。②地域と連携し、当施設を地域コミュニティ活動拠点とする。③ボランティア活動の推進。④地域の特性や施設を活かした行事を開催。⑤運営委員会による、安全・安心な継続性のある公園管理。年間行事として「竹の子まつり」「田植え体験」「ほたる鑑賞会」「春・冬の野鳥観察会」「かかしコンテスト&展示」「稲刈り体験」「天王森まつり」「天王森餅つき」「そば打ち体験」など、里山の生活を体験できる行事ばかりです。また「月例生き物調査と自然観察」も行い自然を身近に知ることができます。

天王森泉公園はボランティアが協力で維持管理を行っていますが、そのためには多くの力が必要になります。森に囲まれ環境の良い公園で、自分がボランティアになって楽しもうと思われる方、(月1回数時間でも可能)また、大学生、高校生、中学生、小学生もボランティアに参加できます。

公園は、今年11月で、開園25周年を迎えます。近隣地域および市民に愛される公園にむけて活動いたします。みなさまのご協力をお待ちしております。尚、新型コロナウィルス感染防止対策として3密(密閉、密集、密接)対策を行っております。ご不便お掛けしますがご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。



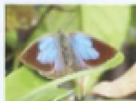
天王森泉公園
ボランティア作
かかしコンテスト
優勝者
明けましておめでとうございます。

事務局長より

天王森泉公園は文化体験施設として古民家の維持管理と、古民家の風情にあったイベントをご提供しております。昨年は夏以降から、安全に配慮をした上で、いくつかのイベントを再開することができました。今年は例年とてもご好評を頂いている吊るし雛展も、状況を見図りながら、再開したいと思っております。当公園は自然体験施設でもあります。園内から湧き出る多量の湧水の恩恵を受け、様々な生物が集まっています。希少な生物も多く生物多様性を守りながら景観も整える維持管理や、自然観察・体験のイベントを行ってまいります。そして文化体験と自然体験を両立し、様々な楽しみ方ができる公園を目指します。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

天王森の自然案内

生きものにとって冬は厳しい季節ですが、成虫で越冬する昆虫もいます。チョウではキタキチョウ、タテチョウの仲間、ムラサキシジミなど。蛾ではフユシャクと呼ばれる一部のシャクガや甲虫ではテントウムシそしてほとんどのカメムシの仲間や一部のイトトンボの仲間です。冬でも晴れた暖かい日には活動するので観られるかもしれません。野鳥はほぼ一年中観られる留鳥に北から越冬のためやって来るカモ、ツグミ、ジョウビタキ、タヒバリ、カシラダカなどの冬鳥と繁殖期は標高の高い場所にて平地に降りてくるアカハラやアオジなどが加わり種類、個体数も多くなります。年によって来たり来なかったり、喜んだりガッカリしたりする。これが野鳥観察です。 By 倉川



館行事ご案内

1・2・3月

コロナ感染予防の緩和が叫ばれた直後再び新株出現による緊張感高まる年末から新年へ、巷の動向視野に事業展開に取り組みます。

- *2月 3日: 11:00 館節分・豆まき
- 13日: 9:30 野鳥観察会
- 27日: 9:30 キノコ栽培菌打ち体験

*吊るし雛アート展: 2月11日～開催予定

本紙面のご案内以外に掲示・HP等のご案内も考慮され、詳細は公園事務局までお問い合わせ下さい。

野の花苑だより

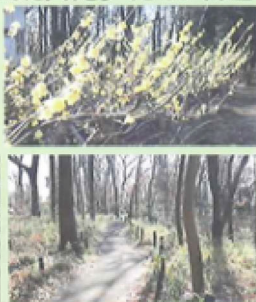
寒い冬も公園では、いろいろな花が見られます。寒咲アヤメ、ニホンスイセン、ウメ、ソシンロウバイ等、2月になると、野草の芽は春に向けて動き出します。小さな芽を見つけてください。フクジュソウの花が咲き出すと、春の近づきを感じられます。シモバシラの氷の花は、今年も寒い日の朝には見られるかも知れません。富士山や雪化粧した丹沢の山々がきれいに見える日もあります。風の弱い晴れた日には、外の空気を吸いに公園へお出かけ下さい。 By 井上



くわくわ森の再生作業

くわくわ森は、カシノナガキクイムシ(カシナガ)によってナラ枯れを起こし、昨年までに約90本のコナラやクヌギが伐採されました。森を歩くと50年以上

経った木の切り株が寂しく残っています。昭和になって、薪炭林(薪や炭にするため育てられた森)として手入れをされてきましたが、ガスの普及によって放置された大きな樹木が被害にあっています。それでも大木がなくなり太陽の光が入ってくると、今まで土の中に眠っていたタネが発芽し、ぐんぐん成長してきます。また、この森に飛んでくる野鳥たちも植物の実を食べ、タネを運んで木を増やしてくれます。私たちボランティアはクヌギ、コナラだけでなく、いろいろな種類の樹木が育つように、観察をしながら見守り育てていきたいと思っています。1月は森の北入り口にあるロウバイが花と香りで楽しませてくれます。散歩コースに取り入れてはいかがでしょうか。 保全管理推進グループ 山本 T



ワサビ田だより

新しい苗を植え付ける前に「ワサビの育成が良く見栄えのするように改造しよう」と言う思いから仕切板を設置し、水深3cmのプールから下の段に流れ落ちるように計画しました。これにより多少水温が上がり溶存酸素も増えるため、下流に住むホタルとその餌となるカワニナにとって良い結果となるはずでした。計画に沿ってワサビ田を耕し仕切板を設置し、そこに新しい苗を植えたが結果が思わしくありませんでした。耕した部分が落ち着くと水深が深くなり、苗の生長点が水中に沈むためかさ上げする、これを繰り返すと根が育たない。グループは今「どうしたものじゃー」と頭を抱えています。 By 山本 G



ホタル育成だより Vol.2

昨年の初夏の頃、深い光を放ちながら夜の天王森を飛びかっていたホタル。今その子どもたちが、湧水流れるせせらぎの水中で暮らしています。夏から晩秋にかけて、私たちはエサとなるカワニナを移動し、またそのカワニナがたくさん育つよう、好物のエサを与えながら育成活動を行ってきました。生まれた頃は1.5mm程度だったホタルの幼虫は、カワニナを食べ脱皮をしながら成長し、今頃は1cmくらいに成長しているでしょう。残念ながらその姿を見ることはできませんが、公園にお越しの際には、水の中をひっそりたたずんでいるホタルの幼虫たちにも、思いをめぐらせてはいかがでしょうか。 By 湯本

ホタルの幼虫
幼虫も時々光る
ことがあるようです

来園者訪問録

もちつきに来園されていたご家族にお聞きしました。
~初めてもちつきした。杵が重かった。とても楽しかった。もっとやりたかったけど疲れちゃった。
~今回で2度目の体験だった。前回はやったので、今年も楽しみでした。とても良かった。
~遅く来ましたが、雑煮が少なくてすぐに売り切れたのが残念でした。もっと増やして欲しかった。お餅だけ買って帰ります。来年もまた来ます。 ~餅つきに参加された方より~



ボランティアさん募集中

天王森泉公園ではボランティアを募集しております。生物多様に配慮したみどり保全(伐採・剪定他)、花壇の手入れ等が主です。四季の里山作りにちよいと覗いてみませんか。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

行事報告 10~12月

来館有難う御座いました。

行楽の秋にとって、行動制限は苦手! そんな中、泉館へご足労戴き有り難う御座いました。
☆新そば祭り⇒限定食数・安心安全を最優先でお召し上がり、新そばは食感を堪能していただきました。
☆稲刈り体験⇒園児・ご家族大勢の皆さん有難う! お疲れ様!!
☆開園24周年記念天王森まつり⇒焼き芋、「書」パフォーマンス、抽選会で盛り上がりました。
☆収穫祭お餅つき⇒解放感満点の園庭で美味しい・お汁粉・お雑煮を提供しました。
=皆さんのほころんだ笑顔が素敵でした?



天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennoumori.net>



天王森泉館利用案内

開館時間: 午前9時~午後5時
休館日: 毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)
年末・年始(12月29日~1月3日)
問合せ先: 天王森泉公園事務局 045-804-5133
館内施設の利用: 利用日の2ヶ月前より申込受付